

令和2年度
公益財団法人山口市文化振興財団
事業計画

令和2年3月

I 基本目標

山口市から管理運営を受託する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて各施設の持つ特性を生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施し、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努めます。

II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる文化環境づくりを目指し、鑑賞、参加型及び創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し提供します。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進、支援するための事業を行います。

なお、これらの事業を実施するにあたって、単年度計画に基づく事業計画の策定及び事業の実施という形態のみでなく、長期的視点からの事業計画や新たな発想による事業展開をめざすとともに、これに基づく具体事業の年次的実施による事業内容の充実に向けた取り組みを推進します。

III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業のうち、企画事業、育成・支援事業、調査研究事業、情報収集・提供及び施設の管理運営受託事業については、以下のとおりです。

1 企画事業

当財団が所管する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種企画事業を実施し、芸術文化に触れる機会、参加する機会などの拡充を図るとともに、幅広い市民の皆様が楽しめる娯楽性の高い事業の企画展開を図ります。

(1) 事務局

山口市市民会館、山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用し、広域的かつ幅広い年齢層を対象にしたポピュラー音楽などのコンサート、舞台芸術などの公演を実施します。

(2) 山口市市民会館

オーケストラや演劇公演など質の高い鑑賞機会の拡充、また落語会など伝統芸能の理解を深めていただく公演の開催を目指すとともに、市民参加型のコンサートの開催など市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供します。

(3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や学芸担当職員による読書会を開催します。また、中也が好んだ〈朗読〉をテーマにした市民参加型イベント〈生誕祭〉を実施します。

(4) 山口情報芸術センター[YCAM]

次に掲げる基本的使命を念頭に、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に多彩なイベントの実施および、文化施設役割である「文化の振興」を担う市民との関りを意識した事業展開を進めます。

- これまでに無い新しい芸術作品をプロデュースし、作り続けること
- メディア・コミュニケーション技術や最新テクノロジーの社会応用を実験することのできる施設として存在すること
- そして、これらの成果を市民に質の高い文化芸術経験と教育的な価値として届けること

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努めます。

また、市民が日常的に文化に触れ、あるいは文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施します。

(1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図ります。4月から6月にかけて、入会金無料を特典とする新規入会キャンペーンを実施予定です。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会員種別

種 別	対象者	入会金(更新時には不要)	年会費
個人会員	個人	500円	1,500円

③ 会員特典

・チケットの先行予約及び割引購入

- ・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
- ・入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈

④ 会員数の推移(件数)

種 別	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
個人会員	856	944	935	905	885	1,129※

※3月1日現在

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業に助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施します。

また、市報への掲載等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援します。

① 募集期間

令和2年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき50万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移 ()内は中也における文化振興事業数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
申請件数	26(3)	18	12	17	14	20
採択件数	21(3)	17	11	17	14	13

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進します。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演ごとのアンケート調査を随時行い、事業企画に対する市民ニーズ等の調査研究を進めます。事業成果のまとめとしてドキュメント制作、展示・公演記録や、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行います。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行します。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行します。

(3) 中原中也記念館 館報第26号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行します。

(4) 機関紙「中原中也研究」第25号の刊行

研究論文、エッセイ、シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行します。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行します。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信します。また、平成19年4月からは財団の主催・共催公演に関して、財団及び山口情報芸術センターのホームページからもチケット予約ができるシステムを整備、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっています。

5 施設の管理運営受託事業

当財団が所管する山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターの管理運営において、「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行います。

また、山口市民会館、山口情報芸術センターにおいては、市条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努めます。

6 企画事業一覧

財団事務局

事業名	開催時期	内容
第 25 回中原中也賞贈呈式・記念講演	4 月 29 日(水・祝) 湯田温泉ユウベルホテル松政	新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に対し中原中也賞を贈り、詩を通じて豊かな芸術文化意識の向上を図ります。25 回目となる今回は、公募・推薦の詩集 224 冊の中から水沢なお(みずさわなお)さんの詩集『美しいからだよ』が選ばれ、贈呈式を開催。贈呈式後には、講師をお招きし、記念講演を開催します。
未来フェスティバル in 山口 「紙のサティさん」 「アナのはじめての冒険」	「紙のサティさん」 5 月 9 日(土) 山口市民会館 「アナのはじめての冒険」 5 月 10 日(日) 山口情報芸術センター	「2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル」に招待された海外作品のなかから親子向けの舞台作品を 2 本上演します。 1 作品は、ポーランドより 2 人組のユニット“アトフリ・シアター”による「紙のサティさん」。フランスの作曲家エリック・サティの音楽を元に作られた、1 歳から楽しめる作品。大きくて真っ白な紙をねじったり、やぶったり……。ガサガサ、ビリリ、紙の音とピアノの音が混ざり合う幻想的な世界へ。 もう 1 作品は、チリからやってきた、陽気な 3 人組“テアトロ・デ・オカシオン”による「アナのはじめての冒険」。冒険に出た元気いっぱいの女の子・アナの目の前に広がるのは、愉快で楽しく、ちょっぴりドキドキの新しい世界。ギターにクラリネット、パーカッション。ラテンのリズムに乗ったノリノリな音楽や、美しい歌声が耳に残る魅力的な作品です。
※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い延期		
近藤芳正 Solo Work 「ナイフ」	6 月 13 日(土) 山口情報芸術センター	映画、テレビドラマ、舞台など幅広く活躍する俳優・近藤芳正が新たに挑むひとり芝居。人気作家・重松清の短編小説「ナイフ」を舞台化し、新作公演を創作します。いじめをテーマとした父と子の拙くも必死な日常を描く、愛と再生の物語。父親や中学生の息子、妻、学校教師など、性別や年齢の異なるすべての登場人物を、息遣いや筋肉の動かし方で演じ分ける、近藤芳正の演技力・表現力が光る必見のひとり芝居です。

<p>カンパニーデラシネラ 「ドン・キホーテ」</p>	<p>9月25日(金)・26日(土) 山口情報芸術センター</p>	<p>身体性に富んだ舞台作品を数多く発表するカンパニーデラシネラが、スペインの作家・ミゲル・デ・セルバンテスによる小説『ドン・キホーテ』を舞台化し、演劇とダンスが巧みに交わる作品に仕上げました。本作ではパフォーマーだけでなく、プロダクトデザイナーの石黒猛による電動で動き出す様々な小道具たちも登場することで、空想と現実が入り乱れていき、観る者を非日常の空間へと誘います。</p>
<p>星屑スカット TOUR 2020「色、色々」</p>	<p>10月3日(土) 山口市民会館</p>	<p>テレビのバラエティ番組などで活躍するミツ・マンガローブを筆頭に、ギャランティーク和恵、メイリー・ムーの3人によって、2005年に結成された音楽ユニット“星屑スカット”によるステージをお届けします。新宿2丁目を中心とした活動をする中、全国各地でのイベント出演やコンサート開催を経て、よりエンタテインメント性の高いグループへと成長。時代やジャンルを越えた幅広い歌謡曲を、それぞれの個性豊かな歌声と洗練されたハーモニーで魅せる唯一無二の世界観をお楽しみいただきます。</p>
<p>Co.山田うん新作ダンス公演</p>	<p>2月予定 山口情報芸術センター</p>	<p>振付家・ダンサーとして活躍する山田うんが2002年設立したダンスカンパニー“Co.山田うん(コ・ヤマダウン)”。国内各地での舞台、ワークショップはもちろん、海外においてもアジア、中東、欧州、アメリカなどで共同製作や招聘公演が後を絶たず、日本を代表するコンテンポラリーダンスのカンパニーとして世界中から注目を集めています。この度はCo.山田うんとの共同主催事業として、新作ダンス公演を上演します。</p>

山口市市民会館

事業名	開催時期	内容
特撰東西落語名人会 三遊亭小遊三・桂文珍・林家たい平	4月29日(水・祝) 14:00 開演	人気番組「笑点」など、テレビでおなじみの噺家、三遊亭小遊三・桂文珍・林家たい平による落語会です。
沢田研二 LIVE 2020 「Help! Help! Help! Help!」	5月24日(日) 17:00 開演	往年の大スター、沢田研二による全国ツアーの山口公演を開催します。
小曽根真 featuring No Name Horses 15周年ツアー	6月3日(水) 19:00 開演	ジャズピアニストの小曽根真を中心に結成され15周年を迎えた、総勢15名のビッグバンド「No Name Horses」による、15周年ツアーの山口公演を開催します。
DRUM TAO 2020 「祭響=SAIKYO=」	6月6日(土) ①13:30 開演 ②17:30 開演	驚異のパフォーマンスで表現する和太鼓演奏グループ「DRUM TAO」による、全国ツアーの山口公演を開催します。
フィルハーモニクス	12月11日(金) 開演時間未定	オーケストラ界の2つの頂点、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる、魅惑の凄腕アンサンブル演奏会です。
第25回ニューイヤー バンドフェスティバル 2021	2021年1月16日(土) 10:00 開演予定	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上を深め、あわせて各団体の親睦を図るためのコンサートです。
第47回市民コンサート	2021年3月20日(土・祝) 13:00 開演予定	年度内に開催された各種コンサートにおいて優れた成績を収めた方々や、平素から熱心に音楽活動を行っている方々を招いての“アンコールコンサート”です。

中原中也記念館

事業名	開催時期	内容
<p>第 17 回テーマ展示 「教科書で読んだ中也の詩——思い出の一篇」</p>	<p>2月14日(金)～令和3年2月14日(日) ※特別企画展会期中を除く</p>	<p>中原中也の詩は、中学校・高等学校の国語教科書に掲載されることが多く、教科書で出会ったという方も少なくないと思います。本展では、教科書に掲載された中也の詩を中心に、中也の詩の魅力や豊かさに迫ります。</p> <p>「一つのメルヘン」「月夜の浜辺」など、いわゆる「定番教材」として広く知られている作品はもちろん、これまで1～2回しか掲載されていない作品からもピックアップして紹介します。</p> <p>また、教科書に掲載されたことはないけれど、教科書に載せたら面白いのではないかと思う詩を紹介します。</p> <p>教科書で中也の詩を読んだという人はもちろん、初めて読むという人も、それぞれの楽しみや発見がある展示です。</p> <p>※第 18 回テーマ展示「友情」(仮) 令和 3 年 2 月 17 日(水)～令和 4 年 2 月中旬</p>
<p>特別企画展 「書物の在る処——中也詩集とブックデザイン」</p>	<p>7月30日(木)～9月27日(日)</p>	<p>詩集には美しくデザインされた本が数多くあります。詩人たちは詩集を通じて自らの作品世界を表現するために、装幀にさまざまな工夫を凝らしてきました。</p> <p>中原中也の詩集『山羊の歌』『在りし日の歌』、3冊のランボオ翻訳詩集もまた、高村光太郎、青山二郎、秋朱之介らといった、個性豊かな装幀家、出版人の手によってかたちづけられました。それらの佇まいには中也と装幀家それぞれの思いが映し出されています。</p> <p>本展では、中也と装幀家たちとの関わりや彼らの美意識、そして大正から昭和初期にかけて出版された詩集のブックデザインを紹介します。</p>

事業名	開催時期	内容
企画展Ⅰ 「<汽車が速いのはよろしい> —— 中也の詩と乗り物」	4月15日(水)～7月26日(日)	<p>中原中也が生きていた昭和初期は、東京に日本初の地下鉄ができるなど、交通網が発達し、鉄道の高速化が進んだ時代でした。山口では妻と幼い息子とともにガソリンカー(ガソリンで走る鉄道車両)で移動したり、鎌倉ではバスに乗って友人を訪ねたりするなど、様々な交通手段が中也の生活を支えていました。</p> <p>本展では、当時の資料をひもときながら、中也の詩に描かれる鉄道や船、飛行機といった乗り物のイメージを探ります。</p>
企画展Ⅱ 「中也の住んだ町——鎌倉」	9月30日(水)～令和3年4月11日(日)	<p>昭和12年2月、中原中也は鎌倉の寿福寺境内に建つ借家に転居します。その3ヶ月前、長男の文也を病で喪い、衝撃で心身を病み、約2ヶ月間入院。鎌倉への転居は、愛児との思い出が色濃く残る東京での生活を望まぬゆえの決断でした。</p> <p>鎌倉には友人たちが多く居を構えていたため、彼らとの行き来が盛んになります。創作では、のちに『在りし日の歌』の「永訣の秋」パートに収録されることになる詩の多くを制作しました。しかし、10月に結核性脳膜炎を発病。山口への帰郷を望みながらも鎌倉で30歳の生涯を閉じました。</p> <p>本展では、日記や書簡、友人たちの証言や、当時制作した詩などをもとに、「鎌倉」という視点から中也の多面的な魅力に迫ります。</p>
屋外展示	前期 5～10月 後期 11～4月	<p>中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を敷きつめている中庭では、今年のテーマ「鳥」にちなんだ中也の詩を紹介します。</p>
中原中也生誕祭「空の下の朗読会」	4月29日(水・祝)	<p>中也の生誕日に前庭で開催。詩の朗読を好んだ中也にならい、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会とコンサートを行います。今年のゲストはシンガー＆ボイスマーティストのおおたか静流さんとヴァイオリンの向島ゆり子さんです。(無料)。</p>

公開講演	第1回 9月12日(土)	「中原中也の会」との共催により講演会を行います。 講師:川島幸希氏(秀明大学学長・日本近代文学研究者)
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施。テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。
第5回ぼうしの詩人賞～あつまれ!未来の中也たち!～	募集:7月1日(水)～9月6日(日)	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。山口市在住の小学生、中学生を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるために創設されました。入選者発表は10月、その後中也忌に合わせて表彰式・朗読会を行います。
中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ	10月下旬	中也の命日10月22日前後にあたる週末の夕方に朗読やミニコンサートなどを行い、中也を追悼します(無料)。10月22日には中也が眠る「中原家累代之墓」にお参りし墓前祭を開催。この日は入館無料となります。
山羊の日	12月10日(木)	昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いします。『山羊の歌』に関連する特別展示、来館者プレゼントを予定しています。

山口情報芸術センター[YCAM]

事業名	開催時期	内容
Sport Research Project YCAMスポーツハッカソン 2020 第5回未来の山口の運動会	5月3日(日・祝)～5日(火・祝)	近年、スポーツ庁が本格的にスポーツクリエイションに取り組む事業の募集を開始するなど、スポーツの新たな側面を開拓することへの関心は高まっています。YCAMではこれまで培った知見や技術力を活かし、メディア・テクノロジーを駆使して新たなスポーツを作り出すスポーツクリエイションイベントと、そのスポーツを多くの市民と体験する運動会を開催します。
搬入プロジェクト	7月25日(土)	2017年に著作権が放棄された劇団・悪魔のしるしの演劇プロジェクト「搬入プロジェクト」を再演します。 会場(YCAM)に入る極限の大きさに設計された巨大な物体を、山口市民をはじめとする参加者と共に会場に搬入する過程を演劇として提示するとともに、これまでYCAMが培ってきた、メディアアート作品修復のノウハウを用いて、既存の作品に新しい価値を加え発表するという新たな表現方法の提案を目指します。
真夏の夜の星空上映会	8月7日(金)～9日(日)	中央公園の芝生の上で映画を鑑賞いただく無料上映会を開催します。通常のYCAMシネマでは上映されることの少ない、一般に認知度の高くエンターテインメント性の強い作品を中心にセレクトし、子どもから大人まで幅広い層に向けて新たな映画の鑑賞環境を提供します。
YCAM 爆音映画祭(2回)	・8月28日(金)～30日(日) ・2020年2月	YCAMの充実の音響環境を使用し、映画を高品質な大音量の中で鑑賞する特集上映イベントです。音響という新たな観点から映画を楽しむ場を提供し、映画愛好家はもちろんのこと、普段映画を見る機会が少ない方へもアプローチを図ります。

<p>sound tectonics#24 Mystic Rhythm</p>	<p>9月5日(土)</p>	<p>国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズの第24弾を開催します。 今回は現代的なオーディオ・テクノロジーと、伝統的なサウンドとの間の可能性をテーマに、Senyawa と西原鶴真の2組が出演します。</p>
<p>山口ゆめ回廊博覧会イベントYCAM特別展示プログラム</p>	<p>9月20日(日)~12月6日(日)</p>	<p>山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」の山口市リーディング事業として、坂本龍一と高谷史郎によるYCAM委嘱作品《water state1》の特別展示プログラムを中心商店街に展示会場を求め実施し、まちなか回遊を楽しめるよう、他の事業との連携を図ります。 また、雪舟生誕600年となる2020年に山口県立美術館が開催予定の「雪舟展(仮称)」にあわせた連携事業を行う予定です。</p>
<p>ホー・ツーニエン新作展 「Voice of Void(仮)」</p>	<p>11月14日(土)~2021年2月14日(日)</p>	<p>シンガポールを代表するアーティスト、ホー・ツーニエンとともに展覧会を開催します。 本展では、日本のアニメーターなどともコラボレーションし、新作VRアニメーション作品を制作・発表します。作品では、山口にもゆかりのある西田幾多郎が基礎を築いた西洋哲学研究の学派である「京都学派」を取り上げながら、「アジア」を捉えなおします。また、単なる映像上映ではなく、観客がライブイベントとして経験できるような演劇的体験の創出も目指します。</p>

<p>パフォーミングアーツ招聘 公演 リミニ・プロトコル「不気味の谷」</p>	<p>11月28日(土)、29日(日)</p>	<p>ベルリンを拠点に活動するプロジェクト型のユニット、リミニ・プロトコルによる舞台作品を上演します。 常に新しい演劇的手法で世界に切り込み、高い評価を得る彼らの本作は、ロボットと人間の関係に新しい視点を投げかける舞台作品です。これまでの舞台芸術のジャンルを刷新するような表現などを試みている作品を、積極的に紹介する取り組みとなります。</p>
<p>YCAM シネマ</p>	<p>通年</p>	<p>山口市内に残る唯一の常設映画館として、多様な映画から独自にセレクトしたプログラムを継続的に展開し市民に届けます。映画監督や出演者によるトークイベントも適宜開催し、観客の映画芸術や映画文化、作品に対するさらなる興味・理解を促します。</p>
<p>教育普及事業総合</p>	<p>通年</p>	<p>YCAMがこれまでに開発した、人と「社会」「身体」「メディア・テクノロジー」との関わり方をテーマにしたワークショップなどを実施します。参加者は自分の好奇心から出発し、スタッフとともに考え、試行錯誤していくプロセスを経ることで、学校とは違う「学び」を得ていく取り組みです。</p>
<p>鎖国プロジェクト「Walled Garden」</p>	<p>2月6日(土)、7日(日)</p>	<p>アーティストと知見を共有しながらリサーチを進め、それを元に新作パフォーマンス/ワークショップを開発・制作します。本年は、その過程をワークショップやトークイベントなどの形で公開します。</p>
<p>委嘱作品の修復・整理・保存</p>	<p>通年</p>	<p>国内外の大学・研究機関などの芸術文化関係者との連携によりメディアアート作品の修復・整理・保存に係る研究を進めます。</p>
<p>アーティスト・イン・レジデンス</p>	<p>通年</p>	<p>YCAM が、多様な専門性やアイデアを持つ人々の交流拠点となること、アイデアや知見などの情報が集まる場所になること、人のネットワークを拡充していくことを目的に、本事業に取り組みます。アーティストとYCAMを訪れる専門家や地元大学との交流、及びリサーチの機会を積極的に創出し、その成果は簡単な展示として公開します。</p>

Connecting Asia	通年	<p>YCAM は、内部に独自の研究開発チーム (YCAM インターラボ)を持つ世界有数のメディアアートセンターであり、様々なアーティストや他の施設、研究機関と積極的に交流を図ってきました。</p> <p>本年は、シンガポール国立芸術評議会 (NAC)と連携し、ワークショップを共同実施することで、YCAM 内に新たな知見を蓄えるとともに、山口と世界のネットワークを拡張することを目指します。</p>
プロモーション事業	通年	<p>YCAM の多岐に渡る活動の内容や魅力を、ポータルサイトはもちろんのこと、テレビや新聞をはじめとするマスメディアやウェブマガジンなどのオンラインメディアへの広告出稿を通して発信していきます。またそれと同時に、マスメディアなどでは伝えきれない YCAM の多様な文脈やアウトプットを発信する手段として、ガイドブックを制作します。</p> <p>このような多様なアプローチにより、幅広い層への情報発信を積極的に進め、YCAM に対する理解度を高めていきます。</p>
Sport Research Project NTT 研究所とのテレプレゼンス共同研究	通年	<p>NTT 研究所との共同研究として、NTT インターコミュニケーションセンター (ICC/東京)と YCAM を NTT の回線で繋ぎ、東京-山口という遠隔地でも空間を共有している状態の中、参加型展示やワークショップなどを実施することで、時空間を超えた新しい公共スペースの展開を試みます。</p> <p>また本事業のアウトリーチとしてスポーツハッカソン・未来の山口の運動会での転用や、芸術表現への応用を目指します。</p>